

事業所名	グループホーム グリーンハウス
日付	2008/1/26
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員 介護福祉士 社会福祉主事 認知症ケア専門士 社会福祉主事 介護福祉士 介護支援専門員
自主評価結果を見る	自主評価結果を見る
評価項目の内容を見る	評価項目の内容を見る
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!) ※

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	平均寿命の上昇及び高齢化社会の出現、それにとまなう認知症発症の確率も高くなってきており、認知症対応型のグループホームの役割は今後もますます重要になるものと思われる。その事を肝に銘じつつ、認知症入居者の方々を全スタッフが理解するよう努力し、本人の尊厳を守りながら日々安心した生活を送っていただけるよう援助する。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	居室は御本人の希望により、今まで慣れ親しんだ調度品を持ち込み生活していただき、共用空間にはソファ等を配し、好きな場所でゆっくりと過ごしていただけるよう配慮している。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることに配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評
全体を通して (特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵まれた環境に立地して、ホーム内の共有空間は、自然の光を採り入れられる窓があり、明るく広々して開放的である。畳の間やソファなどが配置してあり、家庭的でくつろげる空間作りになっている。 ・ 職員は「あたたかい心」をモットーに、入居者のペースに沿った支援や楽しい時間を作って「やる気と喜び」を引き出す工夫をしている。 ・ 緊急時の医師との連携は既に整っていますが、3月より24時間訪問看護ステーションとの連携もできるので、入居者、家族がより安心して過ごせる。 ・ 入居者や家族の希望があれば、ターミナル期をホームで迎える事が出来る。先日看護師を中心とした職員の見守りのもと、安らかな最期を迎えられた方がおられ、家族より感謝の言葉をいただいた。 ・ 家族への連絡は定期的発行の「グリーンハウスたより」等で入居者の日頃の様子や写真等を送付している。 ・ 事業主が地域の方なので、地域での行事に参加や受け入れ等もよく出来ていて、地域密着型のホーム作りが出来ている。 ・ 「職員が明るく、あたたかく相談しやすい」「健康面などよく気にかけてくれる」「食事がおいしいと言っている」等の家族の声がある。
特に改善の余地があると思われる点
特にありません。

III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	女性の方が多いので、昔得意だった調理を担当してもらったり、洗濯物等の手伝いも積極的にしてもらったり等、一人ひとりの生活歴や経験を大切にされた支援に取り組んでいる。また排泄に関しては羞恥心に配慮した対応に努めている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	全スタッフ参加のカンファレンスでケアプラン・モニタリング・プランの見直し等を行い、日々それに基づいた援助に努めている。また問題発生時、その都度スタッフ間で共有し、対処に努めている。		